

第2 主要な事務事業の点検・評価

1 三鷹市教育ビジョン2022（仮称）の策定（指導課・総務課）

目 標

平成18年に策定した「三鷹市教育ビジョン」を見直し、第4次三鷹市基本計画の策定スケジュールとの整合を図りながら、三鷹市の教育が目指すべき基本的かつ総合的な教育施策の方向性を示す「三鷹市教育ビジョン2022（仮称）」を策定する。

策定にあたっては、三鷹教育・子育て研究所からの提言を踏まえるとともに、幅広い市民参加を図りながら検討を進める。

【指 標】

- (1) 学校長、CS委員会をはじめ、子どもの意見やパブリックコメントによる市民意見など、幅広い市民の意見を計画に反映する。（子ども熟議の実施）
- (2) 基本計画策定のスケジュールとの整合を図りながら、年度内の計画策定を行う。

《事業の取組状況》

第4次三鷹市基本計画の策定スケジュールとの整合を図りながら、当初計画のとおり平成23年度末に計画策定を行うことができた。

策定にあたっては、平成22年度に設置した三鷹教育・子育て研究所の分科会「教育ビジョンの見直しに関する研究会」の報告を踏まえるとともに、骨格案、素案の各段階において、コミュニティ・スクール委員会や校長会など、学校代表者からの意見聴取の機会を設けた。

さらに、各学校の児童・生徒の代表51人による「教育の未来を考える 三鷹子ども熟議」を開催し、当事者である児童・生徒からの意見聴取を行うとともに、パブリックコメントを実施するなど、多様な市民参加による意見の反映に努めた。

計画内容においても、目標の明確化と施策の重点化を図り、教育委員会の基本方針と事業計画の基礎となる新たなビジョンを策定することができた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

三鷹市教育ビジョン2022において、「目指す子ども像」として掲げる「『人間力』と『社会力』を兼ね備えた子どもの育成」を図るため、5つの施策目標に基づく20の重点施策の積極的な推進を図る。

また、教育ビジョンの具体的な推進にあたっては、教育委員会が年度ごとに作成する「基本方針と事業計画」において、当該年度に取り組む重点施策・重点事業を明確化し、計画的かつ効果的な推進を図る。

2 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展

(指導課)

目 標

小・中一貫教育校の7学園が、一貫カリキュラムに基づく義務教育9年間の連続性と系統性のある指導の充実を図り、児童・生徒の人間力、社会力及び確かな学力をはぐくむ教育の充実と発展を目指す。

また、保護者や地域住民が積極的に学校運営に参画し、学校教育を支援する「コミュニティ・スクール」の充実・発展により、学園としての教育力の向上を図る。

【指 標】

- (1) コミュニティ・スクール委員会が、学園評価を実施する。
- (2) 学校運営協議会、コミュニティ・スクール委員会のさらなる充実を図るとともに、組織や機能を継承していく基盤整備を行う。
- (3) 一体感のある学園としての教育課程を編成・実施する。

《事業の取組状況》

「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」について、東京大学と連携して全保護者を対象としたアンケート調査を実施し、3,864人の回答を得た。その結果、小・中一貫教育については、15項目にわたる評価において、全項目とも70%を超える肯定的な評価が確認された。中でも「保護者や地域住民が、地域ぐるみで子どもたちを支えていくことは、子どもたちの健全育成に効果がある」の項目では93%もの肯定的な評価がなされた。

コミュニティ・スクール委員会については、人財育成が進み、協議や評価活動を通じた学校運営への参画の深化と自立的な活動がなされるようになってきた。

特に学園評価については評価結果から学園の課題であると指摘された部分について、コミュニティ・スクール委員会で「このことをどう次年度に改善するか」というテーマでの協議が充実し、各学園で積極的に地域の声を反映した学校運営の改善が図られた。評価の結果を生かした協議が各学園での次年度の教育課程の改善に結びつき、本来のコミュニティ・スクール委員会の役割である学校運営への参画の機能が充実するとともに、PDCAのマネジメントサイクルが定着した。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

コミュニティ・スクール委員会のさらなる発展を図るため、周知・広報活動の充実を通じて、学校支援ボランティアの裾野の拡大を図ることが課題である。平成24年度は、教育ビジョン2022に掲げた重点施策の着実な推進を図りながら、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の一層の充実・発展を目指す。

3 知・徳・体の調和のとれた三鷹の子どもを育てる教育内容の充実（指導課）

目 標

9年間の小・中一貫教育の中で、学びの系統性と連続性を明確にした小・中一貫カリキュラムによる学習指導の推進を図る。アントレプレナーシップ教育をはじめとしたさまざまな教育活動を充実させ、より一層「人間力」「社会力」を身に付け、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒を育成する。

学力の向上・科学教育の充実・外国人指導者による外国語教育の充実、人権教育の推進・道徳教育の充実、健康・安全教育の充実・食育の推進等により、9年間の教育内容を充実させ、確実に学習内容の定着を図り、三鷹の子どもたちの学びのより一層の充実を推進する。

【指 標】

- (1) 7学園評価・検証において児童生徒の学力・健全育成の項目の評価を指標とする。
- (2) 教員研修により、指導力や指導内容の質を高め、児童・生徒の学習指導を充実させる。児童・生徒による授業評価等を活用する。
- (3) 三鷹らしい特色ある教育実践のより一層の充実を図る。
- (4) 体力向上のために一校一取組運動の実施を推進する。

《事業の取組状況》

小・中一貫カリキュラムに基づき、9年間の系統性と連続性を明確にした学習指導を実施するとともに、三鷹（地域）学習やアントレプレナーシップ教育、学園内の交流活動など三鷹らしい特色ある教育活動を実践した。また、平成22年度から始めた、新学習指導要領全面实施に向けた小・中一貫カリキュラムの一部改訂作業を完了した。

各学園のコミュニティ・スクール委員会において学園評価及び検証を行い、児童・生徒の学力向上、健全育成の取り組みについての成果や課題を明らかにした。

理数教育の充実や外部折衝力の向上等、学校が抱える教育課題を踏まえ、職層や経験に応じた教員研修を充実させ、教員の指導力向上を図った。

体力向上を図る取り組みとして、小・中学校全校で、体力等の調査及び「一校一取組」等を実施した。体力調査の結果では、複数の項目で市の平均値として全国や東京都の平均値を下回るものがあり、今後、体力向上に向けた一層の取り組みが必要である。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

新学習指導要領及び平成24年度に使用する教科書の内容を基に改訂した「三鷹市立小・中一貫教育校 小・中一貫カリキュラム」に基づき、9年間の義務教育における学びの連続性と系統性を明確にした学習指導の推進を図る中で、知・徳・体の関連に配慮しながら、様々な教育活動を充実させ、「人間力」「社会力」の一層の育成に努める。

具体的には、三鷹市学習到達度調査等を活用して児童・生徒の学習状況を把握することや基礎的・基本的な内容を確実に習得させ活用させる指導方法の工夫・改善を図ることなどを通じて、確かな学力の育成を推進する。また、教科等、全教育活動における道徳教育の充実を図るなど、豊かな心の育成を推進する。さらに、体力調査の実施や「一校一取組」「一学級一実践」運動の実施などを通じて、健やかな体の育成を推進する。

4 健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）

（総合スポーツセンター建設推進室・社会教育会館）

目 標

東京多摩青果(株)三鷹市場跡地に整備する「新川防災公園・多機能複合施設（仮称）」について、市長部局と連携して実施設計に着手する。

事業の推進にあたっては、引き続き市民への適切な情報提供と関係する審議会や利用団体等との意見交換を行いながら取り組みを進める。

【指 標】

庁内検討を進めるとともに、関係する審議会や団体等への情報提供、意見・要望等の把握に努め、実施設計への効果的な反映に努める。

《事業の取組状況》

「三鷹市都市再生ビジョン」に基づき策定した「市民センター周辺地区整備基本プラン」を踏まえ、独立行政法人都市再生機構の防災公園街区整備事業を活用して、「災害に強いまちづくりの拠点」と「多様な機能が融合した元気創造拠点」を整備する事業である。このうち「健康・スポーツの拠点」の整備は、井口地区で計画されていた「総合スポーツセンター（仮称）」に代わるものであり、「生涯学習の拠点施設」は、老朽化した公共施設を集約化する事業のひとつとして、社会教育会館を移転集約化するものである。

平成23年度は、平成22年度の基本設計に引き続き、市長部局と連携して庁内検討を進めるとともに、健康・スポーツ及び生涯学習分野の関係団体、審議会等との意見交換を行いながら実施設計（平成23～24年度）に着手した。また、最適な管理運営体制を構築するため、管理運営に関する目標や施設利用のための条件整備、集約化による事業連携など、基本的な事項等を取りまとめた管理運営方針を策定した。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

引き続き市長部局との連携を図りながら、平成24年度の実施設計完了を目指す。また、平成23年度に策定した管理運営方針に基づき、最適な施設サービスの提供に向けた管理運営計画の検討を進める。これらの検討にあたっては、関係する団体、審議会等への適切な情報提供を行うとともに、意見・要望等の把握に努める。

5 三鷹中央学園第三小学校の建替え（総務課）

目 標

校舎の建替えにより教育環境の整備を行い、児童・生徒及び教職員の安全性・快適性の向上を図るとともに、学校施設の耐震性能の確保及び地域防災拠点としての安全性を高める。

【指 標】

第三小学校校舎新築工事を実施する。

《事業の取組状況》

学校の耐震性能の確保及び地域の防災拠点としての安全性を高めるため、第三小学校校舎の建替え事業を実施している。平成23年度については、計画どおり建替え工事に着手し、工事の適切な進捗管理を行う中で、平成24年12月の新校舎完成に向けて順調に工事を進めた。

また、建替え事業の実施にあたっては、国の補助制度を活用し、財源確保に努めた。

さらに、建替え工事中は、体育の授業において校庭が使用できないため、学園内の第七小学校及び第四中学校の校庭を使用しているが、平成23年11月からは、安全対策随行員を配置し、児童が体育の授業で第七小学校に移動する際の安全確保を図った。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度は、平成24年12月の新校舎完成、平成25年2月の新校舎への移転を目指し、工事の進捗管理を徹底するとともに、初年度備品等の準備を行う。新校舎完成・移転後は、既存校舎の解体、校庭・体育倉庫等の整備を実施し、平成25年度内の事業完了を予定している。

6 学校空調設備整備事業の実施（総務課）

目 標

夏季の猛暑対策として、児童・生徒の良好な学習環境を維持し、適切な教育活動を実施するため、平成23年度から平成24年度にかけて市立小・中学校の普通教室及び特別教室等に空調設備の整備を行う。

【指 標】

- (1) 実施設計17校（小学校11校、中学校6校）を完了させる。
- (2) 整備工事11校（小学校5校、中学校6校）を完了させる。

《事業の取組状況》

市立小・中学校空調設備整備の対象である17校（小学校11校、中学校6校）の実施設計及び、実施設計を行った11校（小学校5校、中学校6校）の整備工事を当初計画どおり完了した。設計・整備にあたっては、平成22年度の補助金確保に努め、補正予算対応を行うことで、当初予定していた補助額を大幅に上回る国の「安全・安心な学校づくり交付金」及び都の「公立学校空調設備整備事業補助金」を確保し、財政負担の軽減を図ることができた。

《事業の評価》

- ① 進捗状況に対する評価
 A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた
- ② 成果に対する評価
 A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度は、残りの学校の整備工事に取り組み、平成24年度内に全小・中学校の空調設備の整備完了を目指す。なお、平成24年度の各校の整備時期については、耐震補強工事をはじめとする他の工事との調整を考慮し、学校の授業への影響が少なくなるよう調整を行う。

7 南部図書館（仮称）の整備の推進（図書館）

目 標

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団との協働により、南部図書館（仮称）の整備に向けて市民会議等による検討を行い、基本プランの策定及び基本設計を行う。

【指 標】

- (1) 市民会議から提言を得る。
- (2) パブリックコメントを実施する。
- (3) 基本プランを策定する。
- (4) 基本設計を実施する。

《事業の取組状況》

南部図書館（仮称）の基本プラン作成に向けて、多様な市民の参加による検討市民会議を設置し検討を進めるとともに、基本プラン（案）について、パブリックコメントを実施した。

児童図書スペースと一般図書スペースの共存などの主要課題について、建設主体となる公益財団法人アジア・アフリカ文化財団（以下「AA文化財団」という。）の了解を得て、建物全体に関するレイアウトプランの変更を行い、市民満足度の高い基本プラン及び基本設計案をまとめることができた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度は、実施設計を完了するとともに、AA文化財団との間で賃貸借契約及び協働事業の協議を進める。「郭沫若文庫」をはじめとする貴重資料の展示公開に向け、調査研究し、準備を進める。

8 学校耐震補強工事の実施（総務課）

目 標

第二小学校校舎及び体育館、羽沢小学校校舎の耐震補強工事を実施する。また、平成7年度から平成12年度にかけて耐震診断を行った学校体育館について、その後の老朽化による影響や診断基準の改定を踏まえ、耐震診断内容の再調査を実施する。

【指 標】

平成23年度末に市立小・中学校の耐震化率92.9%を目指す。

《事業の取組状況》

第二小学校校舎及び体育館、羽沢小学校校舎の耐震補強工事を予定どおり実施した。これにより、小・中学校の耐震化率は92.9%となった。また、4校(第三小、第五小、中原小、北野小)の学校体育館について、老朽化による影響等も含め耐震診断結果確認を実施した。

なお、耐震補強工事にあたっては、国の「学校施設環境改善交付金」等の補助・助成制度の活用を図り、財源の確保に努めた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度は第二小学校校舎、羽沢小学校体育館及び第五中学校校舎の耐震補強工事に取り組み、耐震補強を予定した工事の完了を目指す。

また、該当7校のうち、残る3校(南浦小、井口小、第六中)の学校体育館について、老朽化による影響等も含めた耐震診断結果確認を実施する。

9 みたか生涯学習プラン2022（仮称）の策定（生涯学習課）

目 標

市民の生涯学習に関する意向調査の実施結果及び社会教育委員会議から提出された意見（提言）等を踏まえ、多様な市民参加を図りながら「みたか生涯学習プラン2022（仮称）」を策定する。

【指 標】

第4次三鷹市基本計画の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により「三鷹市生涯学習プラン2022（仮称）」を策定する。

《事業の取組状況》

第4次三鷹市基本計画の策定スケジュールを踏まえ、教育ビジョン2022との整合を図りながら、9月に骨格案を、12月には素案を策定し、当初計画のとおり平成23年度末に計画策定を行うことができた。策定にあたっては、平成22年度に実施した「生涯学習についての三鷹市民意向調査」の結果を踏まえるとともに、社会教育委員会議及び生涯学習計画推進会議における助言・意見、市民からの要望・意見等の反映に努めた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

三鷹市生涯学習プラン2022の基本目標として定めた「ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会をつくる」ことを目指し、「生涯学習の基盤づくり」、「生涯学習の機会と場の提供」、「生涯学習の支援」、「生涯学習によるまちづくり」を4つの基本施策として生涯学習の充実に取り組んでいく。

また、市民が自ら学び、生涯学習の機会と場の提供により、学習の成果を地域に返し、活かしていく「学びの循環」の構築に向けた取り組みを推進していく。

10 スポーツ祭東京2013（東京国体）の推進（国体推進室）

目 標

平成25年に開催する「スポーツ祭東京2013」（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）に向けて、平成22年8月に設置した「スポーツ祭東京2013三鷹市実行委員会」を中心に、関係団体等との連携を図りながら、三鷹市における大会開催の総合実施計画書案を作成し、開催に向けた準備を進める。

【指 標】

4つの専門委員会を設立し、「スポーツ祭東京三鷹市開催総合実施計画書（仮称）」（案）を作成する。

《事業の取組状況》

各専門委員会を開催し、「広報」「市民運動」「歓迎・接遇」「協賛制度」「競技運営」「式典運営」「宿泊」「医療・衛生」「輸送・交通」「警備・消防」の10の計画と各計画に盛り込むべき実施要項等について検討を行い、各計画等をまとめた「スポーツ祭東京2013三鷹市開催総合実施計画書」（案）を作成し、第3回実行委員会総会に提案することとなった。

岐阜国体リハーサル大会を視察し、平成24年度に三鷹市で実施するリハーサル大会3競技について企画や運営面等の調査を行い、競技会場仮施設設計と併せ、リハーサル大会開催に向けた準備体制を整えた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

リハーサル大会3競技を実施し、「スポーツ祭東京2013三鷹市開催総合実施計画書」の検証を行い、本大会に向けて運営体制の更なる確立を図る。また、スポーツ祭東京2013の開催気運醸成のための事業を実施し、広く市民への広報・啓発活動の充実を図る。

11 学校給食の充実と効率的運営（学務課）

目 標

学校給食の充実と効率的運営を図るため、引き続き学校給食における食育の推進と調理施設・設備のドライ化などの改善を行うとともに、調理業務の民間委託化の拡充を図る。平成24年4月から委託を実施する対象校の検討・決定を行うほか、平成19年度に委託を開始した4校については、委託事業者の見直しを行う。

【指 標】

平成24年度から新たに1校での委託化を検討・決定し、給食調理業務の委託校を計9校とする。

《事業の取組状況》

平成23年4月から委託を開始した第二小学校及び井口小学校に学校給食運営協議会を設置し、7月と2月に同協議会を開催した。その結果、一年間を通して安全でおいしい給食が提供され、おおむね順調に運営されていることを確認した。

調理業務の民間委託の拡大を推進するため、平成24年度からの委託実施対象校を第四小学校に決定した。平成23年11月に保護者説明会を開催するとともに、委託事業者については、プロポーザル方式による選定を行い、平成24年2月に決定し、同年4月の委託開始に向けて準備作業を行った。この結果、給食調理業務委託校は計9校となった。平成19年度に給食調理業務の委託を開始してから5年目を迎えた4校については、プロポーザル方式により委託事業者の見直しを行い、平成23年11月に決定した。

また、教員による総合学習の時間や各教科での食育とともに、食育月間においては、栄養職員も加わった給食を通じた食育に取り組むなど、引き続き食育の推進を図った。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

委託後の課題の改善を図りながら、学校給食の充実と運営の安定を図るとともに、平成25年4月から予定している第二中学校の給食調理業務の民間委託化に向けた準備を行う。

12 教育支援プラン2022（仮称）の策定（学務課）

目 標

第4次三鷹市基本計画及び「教育ビジョン2022（仮称）」の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により「教育支援プラン2022（仮称）」を策定する。

【指 標】

第4次三鷹市基本計画及び「教育ビジョン2022（仮称）」の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により「教育支援プラン2022（仮称）」を策定する。

《事業の取組状況》

第4次三鷹市基本計画の策定スケジュールを踏まえ、教育ビジョン2022の策定との整合を図りながら、当初計画のとおり平成23年度末に計画策定を行うことができた。策定にあたっては、校長をはじめとする教職員から、骨格案、素案について意見を聴取した。また、保護者、学識経験者、三鷹市立小・中学校の学校長、通常の学級教員、教育支援学級（固定制・通級制）教員及び健康福祉部、子ども政策部の関係課長による「教育支援推進委員会」において、骨格案・素案の検討を行った。さらに、市民意見の募集やパブリックコメントの実施など、市民意見の把握とその反映に努めた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

「三鷹市教育支援プラン2022」に基づき、様々な子どもの状況に応じたきめ細かな教育支援の充実を図るために、教員研修体制を整備するとともに、個別指導計画・個別の教育支援計画の充実を図る。

また、学習指導員の配置の工夫をするとともに、個別指導計画に基づく指導と達成状況の評価によるより充実した指導を行う。

さらに、教育相談員を活用して、スクールソーシャルワーカー活用事業を拡充し、家庭支援の一層の充実を図り、市長部局、福祉、保健、医療等関係機関との連携、相談、支援体制を強固にしていく。

13 学校 I C T 環境の再整備と最適化（総務課）

目 標

社会的背景の変化に柔軟に対応し、質の高い学校教育を実現するため、「効果的な授業を実施するための I C T 環境」、「校務事務の効率化と改善のための I C T 環境」及び「セキュリティ及び信頼性確保とコスト負担が両立する I C T 環境」を実現する。

【指 標】

- (1) 次期 I C T 整備方針及び教育 I C T 推進計画を策定する。
- (2) 調達仕様書（案）を策定する。

《事業の取組状況》

小・中学校の校長及び副校長を交え、現況の課題分析等を踏まえて今後の I C T 整備方針及び整備計画の策定を計画通り完了した。なお、所要経費についての検討の結果、既定予算の範囲内でこれらの整備実施の目途をつけることができた。

また、整備に必要となる調達仕様書（案）をあわせて策定した。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成23年度に策定した整備計画に基づき、平成24年度から学校 I C T 環境の整備に取り組み、平成25年度中の整備完了を目指す。

14 三鷹教育・子育て研究所の活用（総務課・指導課）

目 標

三鷹市における教育・子育て支援のまちづくりに資するため、シンクタンク機能、人財育成機能等を有する研究機関として設置した三鷹教育・子育て研究所を活用し、教育・子育て支援のまちづくりに係る調査研究や人財育成等を推進する。

【指 標】

- (1) 教師力養成講座・錬成講座など講座開催の充実を図る。
- (2) 教育ビジョン2022（仮称）の策定や新たな教育課題への助言等を得る。

《事業の取組状況》

三鷹教育・子育て研究所の人財育成機能の活用については、教師力養成講座等の充実により、三鷹市の目指す教育を実現するための人財育成が図られた。教師力養成講座では東京都の平成24年度教員採用選考に11人合格し、うち3人が三鷹市に配置された。教師力錬成講座では、特に若手教員の算数・数学の指導法に特化したゼミを開設し、指導力の向上に役立てた。また、学校支援者養成講座では、授業における学校支援ボランティアとして42人を養成し、学校支援者の拡充を図ることができた。

教育ビジョン2022の策定における助言者会議の開催については、教育ビジョン2022が平成22年度の提言を踏まえた内容となっており、学識経験者の知見を活用すべき新規課題がなかったことから開催を見送った。

《事業の評価》

- ① 進捗状況に対する評価
A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた
- ② 成果に対する評価
A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度に策定予定の「三鷹市立学校人財育成方針」との整合を図りながら、教育・子育て研究所の人財育成機能の一層の活用を進め、教員のキャリア支援と人財育成を図る。また、新たな教育課題への対応を含め、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の一層の充実を図るため、教育・子育て研究所のシンクタンク機能を活用した調査研究事業を進める。

15 連雀学園第一中学校のトイレ改修事業の実施（総務課）

目 標

児童・生徒の安全性と快適性を確保するため、老朽化が進んでいる施設・設備の改修を行う。この際に、バリアフリーに考慮した施設整備を図ることで、平常時の使用とともに、災害時等に誰もが安全、快適に利用可能とする。

【指 標】

トイレ改修工事第1期（西棟）を完了させる。

《事業の取組状況》

当初計画どおりトイレ改修工事第1期（西棟）を完了させた。これにより、バリアフリーに考慮した、誰もが安全で快適に利用できる施設となった。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度は改修工事第2期として東棟の整備に取り組む。

16 みたか子ども読書プラン2022（仮称）の策定（図書館）

目 標

子どもたちへ本と出合える機会と場所を提供し、知る喜びを体験できる環境の整備と自主的な読書活動を一層推進するため、「みたか子ども読書プラン2010」を見直し、新たに「みたか子ども読書プラン2022（仮称）」を策定する。

【指 標】

多様な市民参加により「みたか子ども読書プラン2022（仮称）」を策定する。

《事業の取組状況》

「みたか子ども読書プラン2010」による子ども読書活動推進事業の実績評価を踏まえ、新しく求められる課題に対応するため、各種アンケート調査の結果や、学識経験者や三鷹市立図書館協議会等の検討を経て、パブリックコメントを実施し、遅滞なく、又、市民参加を含め広範な意見を反映した計画を策定することができた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

「みたか子ども読書プラン2022」に掲げる10の拡充する取り組み、5つの継続する取り組みを推進することにより、「中・高校生世代」を中心とした子ども向けのサービスを充実、子どもの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援する。

そのために、関係施設・関係部署・関係団体と情報を共有するとともに、連携を強化する。また、図書館職員の育成、ボランティアグループ等の活用など市民のニーズに応えるための人財の育成及び活用に力を入れるとともに、図書館開館時間の延長の検討を含め、子どもの読書活動を支えていくための環境を整備する課題に取り組んでいく。

17 市民駅伝大会・スポーツフェスティバルの開催（スポーツ振興課）

目 標

市民スポーツの振興を目的に実施する市民駅伝大会を通じ、交通安全・防犯・青少年の健全育成などの啓発を図る。スポーツフェスティバルは、さまざまなスポーツやレクリエーションに親しむ機会を提供し、市民スポーツの啓発を図る。

【指 標】

市民との協働の事業として実施し、市民駅伝大会の参加チーム数200と、スポーツフェスティバル参加者数14,000人を目指す。

《事業の取組状況》

第20回三鷹市民駅伝大会は、三鷹市体育協会などの市民団体による実行委員会で企画運営され、三鷹警察署・三鷹消防署・三鷹交通安全協会などの関係団体や、約720人の市民スタッフの協力により安全に大会が実施された。走路は市内コース約12.7キロとし、参加チームは抽選による200チーム（招待チーム矢吹町4チーム含む）で、当日は197チームが出場し完走した。沿道では多くの市民が声援を送り、スポーツを通じた市民交流が図られた。（出場・来場・沿道14,000人）

2011みたかスポーツフェスティバルは、「体育の日」に市民センター周辺を会場に、市内53団体による実行委員会で企画運営され、来場者19,000人がスポーツに親しんだ。東日本大震災を受け、三鷹から東北へ元気を届けたいと「絆」をテーマに取り組んだ。

《事業の評価》

- ① 進捗状況に対する評価
 A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた
- ② 成果に対する評価
 A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

第21回三鷹市民駅伝大会は、スタート・ゴールは暫定管理地とし、市内コースで開催する。安全な運営と経費の削減を課題とする。平成24年度は「スポーツ祭東京2013」の開催に伴うリハーサル大会の万全な準備を図るため、スポーツフェスティバルは休止する。

18 教育センター設備維持補修工事の拡充（総務課）

目 標

教育センターの施設機能の維持・向上を図るため、受変電設備の改修及び自動火災報知設備と非常放送設備の改修工事を実施する。

【指 標】

- (1) 受変電設備改修工事を完了させる。
- (2) 自動火災報知設備及び非常放送設備改修工事を完了させる。

《事業の取組状況》

当初計画どおり教育センターの受変電設備の改修及び自動火災報知設備と非常放送設備の改修を完了させた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

教育センターは建設以来32年を経過していることから、今後も計画的に施設・設備の改修等に取り組み、その維持に努める。

19 学校校庭の芝生化事業の推進（総務課）

目 標

ヒートアイランド現象の緩和や砂飛散防止を図るとともに、環境負荷の少ない快適な学校環境を創出するため、校庭芝生化等の施設整備を実施する。校庭の芝生化にあたっては、学校と地域の協働による維持管理組織を設立するとともに、補助金の活用を図る。

【指 標】

大沢台小学校の芝生化設計業務を実施する。

《事業の取組状況》

大沢台小学校の芝生化整備に向けた設計業務に取り組んだ。校内の樹木による日陰への考慮や器具倉庫の確保など、芝生整備に伴う学校側との調整に時間を要したが、設計業務を予定通り完了させた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

平成24年度はこの設計に基づき、大沢台小学校の芝生化整備工事に取り組む。また、整備した芝生の維持管理は、他校と同様に地域と学校の協働による維持管理組織により対応を行う。

20 幼稚園・保育園・小学校の連携教育の推進（学務課）

目 標

三鷹市教育ビジョンに基づき、小学校入学前後の移行期を円滑で実り多いものとするため、関係機関が協力できる体制を確立し、三鷹市における幼稚園・保育園と小学校等との相互連携と交流を進める。

【指 標】

認証保育所を含む幼稚園・保育園と小学校・学童保育所等との連携地区連絡会の充実を図る。各地区の特色を生かした取り組みについて検証する。

《事業の取組状況》

平成23年度第1回各連携地区連絡会において、平成23年度の取り組みを決定し、各地区で特色のある取り組みが行われた。また、「三鷹市における幼稚園・保育園と小学校との連携事業にかかわるアンケート」を実施した。アンケート結果から、連携事業は、就学前教育から小学校教育への滑らかな移行に対して効果があるということがわかった。その一方で、市外の幼稚園・保育園に在籍している子どもたちが、子どもを対象とした事業に参加できない等、様々な課題もあることがわかった。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

「三鷹市における幼稚園・保育園と小学校との連携事業にかかわるアンケート」結果を踏まえ、全小学校区ごとに設置された「連携地区連絡会」で、地区の特色を活かした事業の推進を図るとともに、子どもと保護者が就学にあたり抱える不安等の解消に向けた取り組みや、研修の実施、情報交換・交流を促進し、連携の強化を図っていく。

21 デイジー図書（CD化した録音図書）等の充実（図書館）

目 標

東京都緊急雇用創出事業を活用し、視覚障がい者等のためのデイジー図書（CD化した録音図書）の整備を行うとともに、児童図書データの刷新、保存庫図書の整理及び蔵書点検を行うことにより、利用者サービスの向上を図る。

【指 標】

- (1) デイジー図書の整備を行う。
- (2) 児童図書の検索時間を短縮する。
- (3) 保管庫スペースを拡充する。
- (4) 開館日数の増を達成する。

《事業の取組状況》

緊急雇用創出事業臨時特例交付金（補助率10/10）を活用して、デイジー図書作成業務、児童書データ変更業務、保存庫図書整理業務及び蔵書点検業務を委託事業として実施した。

デイジー図書作成業務は、対象テープの録音状況が想定を超えて劣悪であったため、補正等に時間を要し、成果物が計画より少なくなったことにより（デジタル化は計画どおり完了）進捗は大きく遅れた。その他の業務は、計画どおり達成し、職員の効率性と利用者の利便性向上が同時にかつ飛躍的に向上した。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた
C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

引き続き、緊急雇用創出事業臨時特例交付金（補助率10/10）を活用して、デイジー図書作成業務を委託事業として実施する。

その他、市民ニーズに対応するため、LLブック、点字資料、障がい者（児）向けのマルチメディアDAISYなどの充実や障がい者（児）への事業の実施など、障がい者（児）の利用を考慮したサービスを提供することにも取り組む。

22 勝淵神社の文化財調査の実施（生涯学習課）

目 標

新川丸池公園に隣接する勝淵神社について、三鷹市文化財としての総合的な調査を実施する。

【指 標】

勝淵神社にかかる各調査を実施し、総合的な報告書を作成する。

《事業の取組状況》

新川丸池公園に隣接する勝淵神社について、建物等調査、古文書等調査、絵馬・幟等調査、自然環境調査、民俗等調査、石造物等調査、歴史調査など、様々な角度から調査を行い三鷹市文化財としての総合的な調査を実施し、3月に総合的な報告書を作成した。調査委員の調査は概ね順調に進んだが、報告書の作成にあたり調整に時間を要したため若干の遅れがでた。

総合的な調査の実施により、勝淵神社の文化財としての深い価値を見出すことによって、地域文化の継承と発展に寄与することができた。

《事業の評価》

① 進捗状況に対する評価

A 計画通り（計画以上の進捗を含む。） B 少し遅れた C 大きく遅れた

② 成果に対する評価

A よい結果（目標以上の結果）が得られた B おおむね目標が達成できた

C 一部目標が未達成であった D 達成できなかった

《今後の取り組み・課題》

今回の調査結果を受け、文化財保護審議会に諮問し、三鷹市登録文化財として登録する手続きをすすめることにより、地域社会の中で歴史・文化に関わる貴重な文化財として保存継承されるよう活用を検討していく。